

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
大溝	R7.11.9	05子育て	教育格差	<p>子育てについて、今の生活を維持することで精一杯で先のことを考える余裕がない。習い事にもお金がかかるし、習い事ができる家庭とできない家庭に格差を感じる。併せて、子どもたちが集える場所が北伊予校区にはない。</p> <p>例えば松前校区には、文化センターの図書館や勉強できる部屋がある、岡田校区には児童館がある。北伊予校区には東公民館内に図書館はあるものの他の校区と比較すると学習環境に差がある。(移動児童館はあるが、タイミング合わないと利用できない)</p> <p>※(参加者から)例えば、集団下校の時に、大溝公民館を開放して、そこに、教員OBの先生がいて、勉強等を教えてもらうような取り組みができれば、習い事をしていない格差解消や子どもたちの集える場所も提供できると考える。</p>	子育て支援課 学校教育課	<p>塾代など習い事の補助については恒常的な財源の確保を必要とするため、持続可能でできるだけ費用のかからない方法での学習支援について、引き続き研究してまいります。</p> <p>また、北伊予校区に児童館を建設したいところですが、建設費や人員確保に多くの費用がかかるため、実現は難しい状況です。現在、東公民館を多世代が交流できる場所として活用できないか検討を進めています。</p> <p>既存施設を生かし、コストをかけずに子どもたちも高齢者の皆さんも集える場所を作りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願ひいたします。</p> <p>※集団下校時の大溝公民館開放や既存施設を活用しての教員OBや学習支援ボランティア等による学習支援の仕組みづくりについては、人員の確保をはじめ多くの課題をクリアする必要があるため、直ちに実施することは難しい状況です。</p>
大溝	R7.11.9	12その他	コミュニティの減少	上記の課題とも重複するが、地域行事の減少などから地域コミュニティが減少してきていることが気になる。地域で子どもたちを育んでいけるような、行事の復活など地元に定着するような取り組み(例えば、調整区域等の解消など)が必要なのでは。	財政課 町民課	<p>町において、地域行事の減少により、地域のつながりが弱まりつつあることは強く感じています。人口規模の大きな地区では、転入者の増加により、地域行事の縮小や廃止が進んでおり、保護者の負担も一因と聞いています。</p> <p>子どもたちが地域に愛着を持つには、地域での思い出づくりが大切です。かつての地方祭では、年長の子が下級生に教えながら行事を進め、貴重な学びの場となっていました。安全面への配慮は必要ですが、子どもたちを信じて任せること、失敗から学ぶ経験も必要だと考えます。</p> <p>行事の復活には労力が伴いますが、復活できれば「やって良かった」との声も多く、地域の再生につながっていきます。</p> <p>町としても、地域が自ら改善を図ろうとする動きに寄り添い、支援を通じて地域の取組を後押ししてまいります。</p>
大溝	R7.11.9	07高齢者	施設整備	R8に民間の高齢者施設が新設されるとの話があったが、とてもありがたい。高齢者が安心して暮らすことができるまちづくりをお願いしたい。	保険課 財政課	<p>令和8年度に新設される施設は、特別養護老人ホーム（介護）とナーシングホーム（医療+介護）を併設した施設です。</p> <p>また、高齢者の皆様が安心して暮らせるまちづくりを実現するために、「コミュニティバスの停留所までは行けない。」との意見を受けて、高齢者の移動手段の確保を目的に、10月から12月までの間、デマンドタクシーの実証運行を行っています。</p> <p>このサービスは、希望場所から目的地まで町内なら1回400円で利用できる予約制の乗り合いタクシーです。令和8年度からの本格運行を目指しており、ぜひこの機会に御利用いただき、使い勝手や御意見をお寄せください。</p>
大溝	R7.11.9	02道路・交通・建物	コミュニティバス	コミュニティバスの導入時に、バス停の設置案が示されたが、高齢者が行くのにとても不便な場所が提案されていたので意見を出したが、例外は認められないとの回答だった。	財政課	<p>御指摘のとおり、高齢者の方が利用しづらい場所に停留所を設置することは、本来の目的にそぐわないと認識しています。</p> <p>地域の皆様のお声を踏まえ、次回の路線改修の際には、利便性の向上を図るため、停留所の位置について改めて検討したいと考えていますが、バス停を設置するためには様々な要件をクリアする必要があります。御期待に添えない場合がありますので御容赦ください。</p> <p>また、現在の車両サイズは、地域の実情に合っていないと考えますので、今後は車両の小型化と2台運行の可能性についても検討を進めてまいります。</p> <p>なお、コミュニティバスの維持コストは年々上昇しており、これまで65歳以上の方は無料としてきましたが、持続可能な運行体制を確保するためにも、料金体系の見直しについても今後の課題として捉えています。</p>

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
大溝	R7.11.9	09観光	宿泊施設の誘致	松前町はホッケーのまちづくりを進めており、合宿ができるような宿泊施設が必要なのでは?また、宿泊施設があると災害時の避難所にもなる。条例改正をして宿泊施設を誘致してはどうか?	財政課 まちづくり課	本町は、ホッケーのまちづくりを進めており、合宿等に対応できる宿泊施設の必要性についても認識しております。また、宿泊施設が災害時の避難所として活用できる可能性がある点についても、重要な視点と受け止めています。 御指摘のありました民間宿泊施設の誘致については、特段の条例改正の必要はありません。 過去には、町に対して相応の公的支援を求める上での、民間事業者から町内への宿泊施設建設の提案がありました。しかし、民間による施設建設は、事業として成立することが前提であり、町が補助金を支出する合理的な理由が見出せなかつたため、当該提案は見送ることとなりました。 松前町は宿泊施設の立地条件に恵まれておりますので、今後も機会を捉えて、民間事業者への働きかけを行ってまいりたいと考えています。
大溝	R7.11.9	12その他	アリーナについて	報道にあった、アリーナ建設について詳しく聞きたい。	財政課	先日発表いたしましたスポーツセンターティメント構想について、報道ではアリーナ整備が大きく取り上げられましたが、これは構想の第2段階に位置づけているもので、まずは第1段階としてアーバンスポーツパークの整備を進める計画です。 この構想は、昨年8月の子ども議会で当時小学6年生の児童から提案があり、本年8月には町議会に要望書が提出されたことを受けて、アーバンスポーツパーク整備の検討を報道発表したものです。 将来的にアリーナが町内に誘致できれば、アーバンスポーツパークと連携したスポーツセンターティメントのまちづくりが展開できる可能性があることも併せてお伝えしました。 なお、アーバンスポーツパークは公設民営での整備を検討しており、アリーナについては建設費が非常に高額なため、民設民営による実現を視野に入れております。
大溝	R7.11.9	01防災	防災行政無線が聞こえない	防災行政無線が聞こえないので聞こえるような対策をお願いしたい。	危機管理課	緊急時にしっかりと情報を受け取ることができないのは不安なことだと思います。町としても、そのお気持ちを重く受け止めています。 4月に実施した、大溝公民館での防災講座においても、防災情報に関連した情報取得手段として、防災アプリ（防災情報 全国避難所ガイド https://www.hinanjyo.jp/ ）等の周知をさせていただきました。 そのほか、電話（松前町防災行政無線自動応答サービス（☎961-7111））・メール（ http://bosai.town.masaki.ehime.jp/mail/mobile/ ）※登録サイト 等による様々な形で防災行政無線が取得できますので、あらためて町民の皆様に周知・御理解していただくために、広報を行っていきたいと考えております。
大溝	R7.11.9	01防災	防災行政無線が聞こえない	愛南町では、各家庭にスピーカーみたいなものが配布されていて、家庭の中でもよく分かった。 (別の参加者から)昔は、有線放送(電話?)の下に箱形のスピーカーのようなものが設置されていてそこから放送内容を聞くことができたので、家の中にいてもよく聞こえた。	危機管理課	愛南町などの山間部については、防災行政無線機のスピーカーによる放送周知（電波の影響、過疎集落による費用対効果）が難しいため、戸別受信機を整備していると思われます。 松前町においては、現在、防災行政無線機により町内のサービスエリアをカバーし、アプリ・メール等でも情報取得をしていただけるように整備をしております。 なお、現在配備している防災行政無線機の耐用年数による更新時期も近づいているため、次回更新時の際には、戸別受信機の配備も含めて、様々な媒体を利用した情報取得方法を検討していきたいと考えております。